

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム  
平成 29 年度第一回企画運営委員会議事概要

【日時】 2017 年 4 月 6 日（木）12 時 00 分から 13 時

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席（敬称略）】 清水（委員長・情）、尾上（情）、藤原（情）、谷田（情）、井上（情）、若宮（情）、松下（情）、原（情）、難波（生）、細田一（情）、石井（生）、中野（生）、中村（基）、EUM（情）、楊（情）

【遠隔参加】 細田耕（基）、

【事務局】 松岡（情/事務長）、鐘ヶ江（情/大学院係長）、徳野（情/部門事務局長）、岡本（情/部門事務）、井汲（情/部門事務）、谷川（情/部門事務）、森田（生/部門事務）、今中（情/部門事務）、古市（情/部門事務）、

【欠席（敬称略）】 村田（情）、増澤（情）、大澤（生）、八木健（生）柳田（生）、平岡（生）、藤田（生）、近藤（生）、石黒（基）、宮崎（基）、松岡（サイバー）、

### 配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。（パスワード： HWinnovation）

### 議題

冒頭に、4 月 1 日付け採用の楊 華特任助教の紹介があった。

#### (1) 教務委員会（資料あり）

- 今年度の教務活動方針・予定について説明があった
- 一期生が修了する年度にあたり、各委員に対して最終審査への協力依頼と早期修了予定者がある旨の発言があった。

#### (2) リーディング大学院選抜委員会（資料あり）

- 3 月に実施した第五期生の選抜の結果、合格者 21 名全員の履修意思確認がとれた旨の報告があり、履修生が 21 名となった旨の報告があった。

#### (3) 海外連携委員会（資料あり）

- 現時点での今年度海外派遣状況について報告があった。
- 今年度の海外短期派遣支援について、次のとおり方針の説明があった。
  - ◇ 概ね昨年同様。ただし、申請回数については履修生が増加したこともあり 9 月までは一人の履修生につき 1 回とする。それ以降については、9 月の時点で渡航予定を調査し、予算状況を勘案のうえ、申請を受け付けることとする。
- シドニー研修の報告があった。

- ◇ 引率 2 名、履修生 6 名にて 3 月 25～30 日で実施。
- ◇ 履修生から、インターンシップ候補場所や英語コミュニケーション等に関して大きな刺激となったと感想があった。

(4) 産学官連携委員会（資料あり）

- 海外を含むインターンシップの実施状況について報告があった。
  - ◇ 一期生については 2/3 程度が実施済み。二期生は 2 名が実施済み。
- 4 月 13 日にインターンシップガイダンスを開催する予定である旨報告があった。内容は、インターンシップの概要説明、CLIC の松尾教授によるインターンシップについての講義、インターンシップ実施済履修生の体験談など。
- 参画企業のインターンシップ情報については、例年のとおり希望される企業には説明会に来学いただく予定で、現時点で NEC、東芝から連絡があった旨の報告があった。
- 教務(3 年次)で実施する「イノベーション実践演習」(企業講師)の日程を調整中である旨の報告があった。

(5) 広報企画委員会（資料なし）

- 今年度も例年と同様の広報物を作成予定である旨の報告があった。
- HP の履修生紹介ページを昨年度充実(特に修了が視野に入る学年)したが、今年度も予算があれば、対象者を増やしたり昨年度実施分の英語化もやっていきたいとの発言があった。

(6) その他

- 予算案について（清水教授）
  - 次のとおり報告と依頼があった。
  - H29 年度予算は約 3.4 億円。
  - 予算配分(内訳)については、幹事、各委員会委員長、特任教員に確認いただいた。
  - 履修生は増加したがプログラム活動の必要経費は確保できていること、国のリーディング全体予算が削減されているため、来年度はさらに厳しい状況になっていくことが予測される。
  - 予算の中で奨励金が必要な割合を占めるため、関係の教員は 3 期生以下に学振の研究員に応募するよう指導して欲しい。
- 構成員について（清水教授）
  - ◇ 選抜委員会委員長を細田耕教授から原教授に交代する。
  - ◇ 基礎工学研究科 新井教授のご退職に伴い、原田教授に参画をいただく。これ

に伴い新井教授が担当されていた、海外連携委員会委員(基礎工学研究科主任)と産学連携委員会委員を担当いただく。

- ◇ 生命機能研究科 小倉教授がご退職されたが、新たに別の方に参画いただかない。
- ◇ 楊 華特任助教が新たに参画した。
- ◇ 委員から、メーリングリストに一部誤りがある旨の指摘があり、口頭で修正を行った。

- 英語クラスについて (オム特任准教授)

修了要件となる TOEIC730 点に達していない学生の調査結果の報告があった。達成できていない学生に対するケアが必要であり、今後検討していくこととした。

- その他

委員から、平成 30 年度受験希望者から奨励金の支給年度と試験実施について質問があった旨発言があった。

質問に対してプログラムコーディネーターから、平成 30 年度入学者選抜は実施すること、奨励金は平成 30 年度までは支給されるが、それ以降のことはわからない旨の発言があった。

次回 : 6 月 1 日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C 棟 4 階 C401